

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	輪之内町立大藪小学校		
実 施 期 間	平成26年10月26日（日）		
実 施 概 要	① 授業参観 ② 全体会 ③ ものづくり講座（児童，中学生，地域の人たち）		
実 施 内 容	学習・取組の分野 <input type="checkbox"/> 自然 <input type="checkbox"/> 歴史 <input checked="" type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 産業 <input type="checkbox"/> その他		
	公開の方法 <input checked="" type="checkbox"/> 授業公開 <input checked="" type="checkbox"/> 成果発表 <input checked="" type="checkbox"/> 交流活動 <input type="checkbox"/> 講演会等 <input checked="" type="checkbox"/> 地域行事等参加 <input type="checkbox"/> その他		
来 校 者 数	保 護 者	約150人	計 約200人
	地域関係者	約50人	
実 施 状 況	1 ねらい 大藪校区ふれあい活動は、次のねらいを達成するために実施した。 ・保護者，家族が授業参観に参加して，児童の様子を知り，成長ぶりを確かめ，親子，家族の絆を深める。 ・ものづくり講座により，地域の人たちと小中学生が絆を深め，温かい地域をつくる。 2 日程：主な活動 ① 授業参観（各教室等） ② 全体会（体育館） ・挨拶（地区づくり推進委員長） ・あいさつ標語，「家庭の日」標語の表彰（地域づくり推進委員長） ③ ものづくり講座 くす玉作り，リース作り，たこ作り，フェルトバッグ作り，牛乳パック工作の5講座を設置（リース作りは，地域のボランティアの方を招いて実施）した。 ・事前に希望調査をして，ものづくり講座を決定した。 ・中学生ボランティアやPTA役員，学校職員が事前にもものづくり講座の講習会に参加して，作り方を習得して，小学生に教えた。（10月18日） ・地域の方々，祖父母，中学生，小学生が参加してもものづくりをし，家庭に持ち帰ることができた。		
成果及び課題	【成果】 ・普段，子どもたちとなかなかふれ合えないことが多いが，家族と一緒に参加することができたので，話し合うきっかけや話題づくりに役だった。 ・授業参観では，子どもが学習する姿を家族で見ることができた。 ・ものづくり講座では，親子で相談しながらものをつくることができ，形に残るものがあって，楽しんで活動することができた。 【課題】 ・ものづくり講座を今後も継続していくならば，講座の内容を早めに検討していき，準備をしていく必要がある。		